

平成28年度実施施策に係る政策評価書

(経済産業省28-5-3)

政策名	5 エネルギー・環境	施策名	5-3 電力・ガス			
施策の概要	平成26年4月に閣議決定したエネルギー基本計画を踏まえ、3E+Sの観点から現実的かつバランスの取れた需給構造の姿として平成27年7月に策定したエネルギーミックスの実現に向けて、原子力、火力、再エネ、ガス等の各分野で必要な施策を講じる。さらに、エネルギー市場の垣根を超えた改革を一体的に進め、革新的な技術の導入や異なるサービスの融合など、ダイナミックなイノベーションを生み出すとともに、エネルギー選択の自由度の拡大や料金の最大限の抑制を実現し、我が国の成長につなげる。					
達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーミックスの実現に向けた施策の実施</li> <li>・エネルギーシステム改革の着実な実行</li> <li>・福島第一原発の廃止措置終了</li> </ul>					
施策の予算額、執行額等	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	190,411	182,591	174,610	178,988
		補正予算(b)	0	0	0	-
		繰越し等(c)	5,323	3,521	▲719	
		合計(a+b+c)	195,734	186,112	173,339	
執行額(百万円)	181,192	168,242	178,988			
施策に係る内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	エネルギー基本計画(平成26年4月11日閣議決定)					

測定指標	1	エネルギーミックスの実現に向けた施策の実施	基準値	実績値					目標値	達成
		(※1)実績値の電源構成比率は旧一般電気事業者の発電電力量の比率であり、目標値に記載した数値は、自家発電消費量を見込んだ値となっているため、同様の基準ではない。 (※2)実績値の電源構成比率は発電事業者が届け出た電力量と、小売電気事業者及び一般送配電事業者が電気事業者以外の者から調達する電力量を集計したものの比率であり、目標値のものは自家発電消費量を見込んだ値となっているため、同様の基準年度ごとの目標値	26年度 LNG46.2%、石炭31.0%、再エネ等12.2%、原子力0.0%、石油等10.6%の電源構成(※1)	27年度 LNG44.0%、石炭31.6%、再エネ等14.4%、原子力1.1%、石油等9.0%の電源構成(※1)	28年度 LNG43.8%、石炭30.6%、再エネ等14.9%、原子力1.9%、石油等8.7%の電源構成(※2)	29年度	30年度	平成42年 目標 LNG27%程度、石炭26%程度、再エネ22~24%程度、原子力22~20%程度、石油3%程度の電源構成(※1)	-	
測定指標	2	電力・ガス及び熱供給システム改革の断行	施策の進捗状況(実績)					目標値	達成	
		○電気事業法の一部を改正する法律の成立(平成25年第185回臨時国会) ○電気事業法等の一部を改正する法律の成立(平成26年第186回通常国会) ○電力広域的運営推進機関の設立(平成27年4月) ○電気事業法等の一部を改正する等の法律の成立(平成27年度第189回通常国会) ○電力取引監視等委員会の設立(平成27年9月)(平成28年4月よりガス事業及び熱供給事業に関する業務が追加され、電力・ガス取引監視等委員会に改称) ○電力小売全面自由化を実施(平成28年4月) ○熱供給事業の自由化を実施(平成28年4月)	平成34年 目標 電力、ガス、熱供給分野のシステム改革をスケジュール通り着実に推進する	-						

		施策の進捗状況(実績)	目標値	達成
	3	福島第一原発の廃止に向けた中長期ロードマップの履行 (総論) ○中長期ロードマップ(平成27年6月改訂)に基づく対策の実施 (汚染水対策) ○地下水バイパスの運用開始(平成26年5月) ○サブドレンの運用開始(平成27年9月) ○海側遮水壁閉合(平成27年10月) ○トレンチ内汚染水の除去完了(平成27年12月) ○凍土壁凍結開始(平成28年3月)。海側凍結完了(平成28年10月)、山側約98%凍結完了(平成29年3月時点) ○敷地境界の追加的な実効線量を1mSv/年未満に低減(平成28年3月) (廃炉対策) ○4号機使用済燃料プール内の燃料取出し完了(平成26年12月) ○櫛葉モックアップ試験施設の運用開始(平成27年10月)	30~40年後	-
			廃止措置終了	

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり  (判断根拠) エネルギーミックスの実現に向けて、安全性の確認された原発の再稼働といった取組を進めた。 電力・ガス及び熱供給システム改革の断行に向けて、2016年4月に小売電気市場全面自由化および熱供給事業の自由化が実施された。また、電力取引監視等委員会にガス事業及び熱供給事業に関する業務が追加され、電力・ガス取引監視等委員会に改称されるなどガス小売全面自由化に向けた準備を進めた。 また、福島第一原子力発電所の廃止措置終了に向けた中長期ロードマップに則り、廃炉・汚染水対策を着実に実行した。
	施策の分析	○エネルギーミックスの実現に向けた施策の実施 ・安全性を最優先として各地の原子力発電所の再稼働に向けた取組を進める際に、立地自治体等関係者の理解と協力を得られるよう努めた。 ・原子力利用における不断の安全性向上については、「自主的安全性向上・技術・人材ワーキンググループ」における議論を踏まえ、2015年度に取りまとめた「軽水炉安全技術・人材ロードマップ」の改訂版を2017年3月に取りまとめた。 ・電力自由化等の新たな事業環境下でも使用済燃料の再処理等が将来にわたって滞りなく行われるよう、2016年5月に拠出金制度の創設等を内容とする「原子力発電における使用済燃料の再処理等のための積立金の積立て及び管理に関する法律の一部を改正する法律案」(再処理等拠出金法案)が成立し、2016年10月には認可法人である使用済燃料再処理機構が設立された。 ・原子力損害賠償制度の見直しについては、「原子力損害賠償制度専門部会」において、専門的かつ総合的な観点から検討が行われており、2016年8月に「原子力損害賠償制度の見直しの方向性及び論点の整理」がとりまとめられた。 ・高レベル放射性廃棄物の最終処分については、科学的により適性が高いと考えられる地域を全国マップの形で科学的・客観的に示すため、「地層処分技術ワーキンググループ」において検討が行われている。本ワーキンググループにおいて、2017年3月にその要件・基準に関するとりまとめ案が示され、当該案についてパブリックコメントが実施されており、最終処分に向けた取組を着実に進めている。  ○エネルギーシステム改革の着実な実行 ・2016年4月に電力小売全面自由化を実施した。また、競争活性化の方策と競争の中でも公益的課題への対応を促す仕組みの具体化に向けて「電力システム改革貫徹のための政策小委員会」において審議を行い、2016年12月に中間とりまとめを行った。 ・2016年4月に電力取引監視等委員会にガス事業及び熱供給事業に関する業務が加わり、「電力・ガス取引監視等委員会」に改称するなど、2017年4月のガス小売全面自由化に向けて必要な措置を講じた。 ・許可制としていた熱供給事業への参入規制を登録制とし、料金規制や供給義務などを撤廃し、熱供給事業者に対し、需要家保護のための規制を課すなどの熱供給システム改革を2016年4月に実施した。  ○福島第一原発の廃止措置の実施 ・東京電力福島第一原子力発電所の廃炉対策については、燃料デブリの取り出しに向けて、宇宙線ミュオンを利用して燃料デブリの所在を透視する装置により、原子炉内部の状況を測定した。また、遠隔操作によるカメラやロボットを投入し、原子炉格納容器内部の状況調査を実施した。 ・汚染水対策については、凍土壁の凍結が2016年10月には海側で完了し、山側でも2017年3月時点で約98%進んでいる。
	次期目標等への反映の方向性	エネルギーミックスの実現に向けて、省エネルギーの取組の進展、再生可能エネルギーの導入状況、原発再稼働の状況、海外からの資源調達コストの状況、高効率火力の技術開発の見通し等を見極めながら、必要な施策の検討を行っていく。 事業者の置かれた競争環境や需要家の取引状況等をフォローアップしながら、エネルギーシステム改革を着実に進めていく。 福島第一原発の廃止措置については、今後の現場状況や研究開発成果等を踏まえ、中長期ロードマップの継続的な見直しを行い、取組を進めていく(福島第一原発の廃止措置終了については、政策評価体系の変更により、次期目標設定より「5-5 福島・震災復興」に移管)。

学識経験を有する者の知見の活用	政策評価のあり方を検討する場として、「政策評価懇談会」を設置。その議論を踏まえて省としての政策評価体系や評価の在り方を決定。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	平成28年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書2017)
---------------------------	----------------------------------

担当部局名	資源エネルギー庁長官官房総務課 電力・ガス事業部政策課	政策評価実施時期	平成29年8月
-------	--------------------------------	----------	---------